

デジタル人材のスキル・学習の在り方ワーキンググループ
CBT化・スケーラビリティ

日本英語検定協会
デジタルサービス企画開発部長 兼ICT推進部長
山田和弘

2025/2/18



協会理念

「この法人は、日常の社会生活に必要な実用英語の習得及び普及向上に資するため**英語の能力を判定**し、また様々な機会を通じてその能力を養成することにより**生涯学習の振興に寄与**することを目的とする」 （定款第三条より）

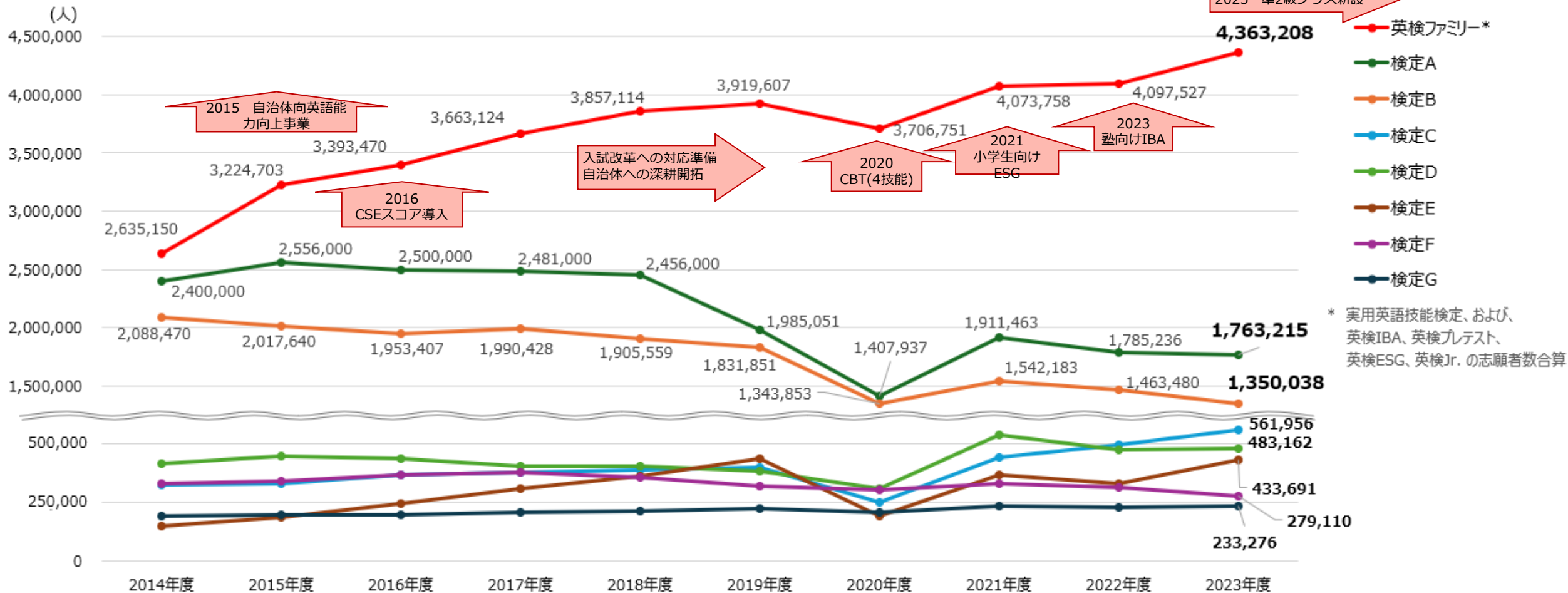
本日のアジェンダ

1. 検定業界のトレンド
2. 検定業界のビジネス状況
3. 受験生の利便性向上（S-CBT導入の背景）
4. S-CBT導入時のミッション
5. 今後の展開

1. 検定業界のトレンド

国内検定業界全体では、受験者数は2020年度のコロナ禍以降持ち直したものの横ばい・減少の傾向が多く見られる

主要な国内検定試験の受験者数推移



2. 検定業界のビジネス状況

マーケット環境の変化による業績下振要因に対し、国内の検定業界では生残りをかけて各種解決策を講じるしかない

課題（例）

解決策（例）

人口減少・少子化



働き盛り(子育て世帯)の
可処分所得減少

(税金/保険料/電力/ガス
/ガソリンの負担アップ)



時短、働き方改革で
学習支援する時間が減少



大学が余っていて
勉強しなくても入れる状況に



顧客の潜在的な課題を
把握できていない
(なぜ勉強する子としない子がいるのか、
なぜ自信がない子がいるのか)



“顧客の声を聴く”体制の整備
(コンタクトセンターによるイン・アウト
バウンド、英検プラチナパートナー塾との
アライアンス等)



顧客LTV追求
(シェア、年齢層)



新検定の連続的開発・
リニューアル



受験利便性の向上
(CBT、プロクタリング)



エコシステムの拡充
(学習支援/取得支援サービス/
入試就職転職活用/単位取得/昇格基準)



プラットフォーム化・AI化
による抜本的な生産性向上、
品質向上、コストダウン



シェアードIT
プラットフォームの活用



3. 受験生の利便性向上のために ～英検S-CBT導入の背景～

公益財団として、「受験したいときに受験できる」という受験機会の拡大に寄与するためにS-CBTの導入に踏み切った
※2020年に本格的にサービスを開始し、24年度実績で49.9万人に成長

受験生の声（解決すべき課題）



せっかく1次試験は合格したのに
2次試験の日は部活の大会で受験できない

入試で英検を活用したいけど不合格
次の試験日には出願日に間に合わない



英語を頑張って勉強したので
良いスコアをとる自信があるのに日程が。。

試験会場が遠いと受験が大変・・・



CBT導入による実現事項

☀ 1日で4技能を測定

これまで2日を要していた4技能測定が
S-CBTの場合、1日で測定可能



☀ 試験日程を受験者が自由に選択

原則、毎週土日に試験を実施することで
受験者は都合に応じて受験日を選択可能
※一部エリアでは平日も実施



☀ 同一検定期間内の受験可能回数が増加

同一検定期間内で同一級が2回受験可能となり
従来型との併願で年間9回に機会が拡大
※2025年度からは同一検定期間内3回へと更に拡大



☀ 充実のテストセンター

全都道府県に1箇所以上、合計120箇所の
センターがあるため、近隣会場で受験可能



4. 英検S-CBT導入時のミッション

入試等で活用されるPBT検定と同等のハイスティクス・テストとするために
大規模（①）に、高いクオリティ（②）を、低コスト（③）で実現することが絶対条件

実施した施策	① スケーラビリティ確保	② 正確で厳密な技能測定	③ コスト抑制
■ 大量の問題制作と出題プール確保 試験回数を増やすために大量の問題が必要	↑	—	↑ ↓
■ 大量で恒常的な採点能力の確保 記述、スピーキングの採点能力の向上	↑	—	↑ ↓
■ 同問は同一人物に出題しない 徹底的な個人特定と出題制御	↓ ↑ DX	↑	↑ ↓ DX
■ 隣の人とは別の問題 カンニング（特に発話）は無意味に	↓ ↑ DX	↑	↑ ↓ DX
■ 柔軟な試験座席の確保と解放 自前、委託、会議室の組み合わせ	↑	—	↓

IT部隊のミッション：DXによりこれらのトレードオフを取り除く

5. 今後の展開 ～海外CBT～

PBT

50か国(※)、124会場にて延べ1.65万人強が受験

CBT

ニーズの高い地域よりテストセンターを設置開始

- ・ LA・ロンドン・NYの3拠点に会場を設置
- ・ ドイツ・シンガポール等への設置も検討中



5. 今後の展開 ～海外CBT～

ロサンゼルステストセンターの様子

